



オーディオキネマ 声優ワークショップ

「シナリオ読解力を演技表現に活かす！」

このワークショップは、弊社レッスンの中で、最後に位置付けられるトレーニングとして企画しました。シナリオを知ることから始まり、その読み込み方を学んだ後、ここで得た知識やスキルを演技表現へ駆使する過程を学ぶためのレッスンとなります。

これまで取り組んできたシナリオ読解を新たなシナリオで試しながら、今ある弱点を強化していきます。そして、さらなるスキルアップを図りながら、実際に短編オーディオドラマを制作していきます。作品の完成へ向けて演技実践をすることで、さらなるスキルの現状把握が可能となります。重要なのは、各自が自分の問題点について具体的に理解することです。そこを意識できれば、作品制作を繰り返す度に、その課題を乗り越えるアプローチが可能となります。

厳しいレッスンになりますが、意見交換を絶やさずに、シナリオを楽しみながら表現者としての主張、目的を再発見して頂きたいと思います。

【レッスン行程】

- 1月目 娯楽性の高い映画シナリオを使用して、現在の読み込みの実力を確かめながら分析を進めます。シーンの繋がりや、ドラマの構成なども確認しながら映画全体の把握に努めます。
- 2月目 二本目の映画シナリオは、キャラクターの内面をえぐり出すような作品の読み込みを行います。注目すべきは人物です。人物の言動を深く分析することで、役作りの幅、役の本質、テーマについて考えていきます。
- 3月目 オーディオキネマで用意した短編シナリオを読み込んで、実際に演技、録音を行います。2週間を演出の期間とし、作品のイメージを全員で検討します。3週目に録音し、4週目にその音源を聴くことが目標です。参加者への配役キャラクターは、各自の弱点を意識した人物設定を行いますので、シナリオ作成へのご協力をお願い致します。

※3ヶ月間のWS終了後は、さらなる作品制作も実施可能です。
継続については、参加者全員で話し合っ決定したいと思います。

【概要】

- 会場 スカイプアプリ(無料)を使っのオンランレッスンとなります。
- クラス 毎週日曜日にて開催。
- 時間 9時～12時にて実施
録音制作の際は、時間変更にご協力いただくがございます。
- 費用 ¥20,000 (月謝制です。)
- 申込 氏名、メールアドレス、連絡先を E-Mail : audiokinema☆audiokinema.com へお送りください。
(☆→@に変更) 後日、弊社より WS 詳細を明記した案内状をお送り致します。

◇第1日目は、教材シナリオの配布、レッスン進行の説明も行います。
短編シナリオのアイデアもここで収穫したいと考えています。ご協力よろしくお願いします。

【レッスン詳細】

ここでは、レッスンの**内容と目的**を解説しています。受講前に各回の詳細を知っておくことは、とても重要な心構えとなります。参加をご検討の方は、必ず、こちらをご一読くださいませ。長い案内となりますが、よろしくお願いいたします！

(レッスンは、1回3時間となります。)

■ 1ヶ月目 ■

「王道の娯楽作でシナリオ分析力を確かめる」

まずは、これまで鍛えてきたシナリオ分析力を、新しく用意した映画シナリオで試しながら読み込みを進めていきます。展開が分かりやすい大衆娯楽喜劇を用意しますので、現在の実力と向き合う良い機会になるはずですよ。

シナリオを読むスキルは、毎日の積み重ねで獲得することが可能です。このシナリオ以外にも、課題を配布することもあると思います。ドンドンと良質なシナリオに触れて、スキルが定着することを認識しながら過ごしましょう。

●目的

まだまだシナリオ分析力に不安を感じている時期だと思います。その悩みを乗り越える一番の方法は、「沢山のシナリオを読む」ことです。ただし、読むべきシナリオは、構成、展開、セリフ、キャラクターなどの創作の質が高いものでなくてはなりません。一流の作品からしか学べないものがあることを、このひと月で実感して頂きたいと思います。ここを皆さんと共有できれば、今後も、ご自身でシナリオを読み続ける習慣が身に付くはずですよ。1ヶ月で1本のシナリオについて話し合いますので、そのスピード感も大事にしてレッスンを進めましょう。

■ 2ヶ月目 ■

「人物の本質やテーマを意識させるシナリオに挑戦」

実際に作品制作に参加するときには、キャラクターの役作りが大きな仕事となります。これは、物語の展開や各シーンの意味を考えるよりも難題となることもあります。課題となるシナリオは、そんな人物の本質(葛藤)へ目的を据えた作品を用意しますので、とことん、人物を深く解釈する時間を過ごしてください。ここでの経験は、必ず、『研ぎ師伊之助深川噺』で学んだベテラン声優たちの役作りの理解へと繋がるはずで。難しいシナリオを用意しますが、それだけの学びは必ず得られるはずで。

●目的

役作りを魅力的に行うには、どのようなシナリオへの理解が必要なのか……。この過程は、これまでのレッスンでは、深く追求できていませんでした。そこへ、ひと月かけて突っ込んで行きましょう。ここで用意するシナリオでは、主人公が自分自身の本質と向き合う姿勢を見せています。登場人物も最小限の作品を用意します。これは、我々が得たい内容へ集中できる素材になるはずで。難しいシナリオへの挑戦となりますが、これまでのレッスン経験があれば大丈夫で。あえて質の高い作品へ挑戦して、自分自身の限界を突破して頂きたいと思ひます。役作りの醍醐味を、一流のシナリオと一流の俳優から学び取りましょう。

■ 第3回目 ■

「短編オーディオドラマ制作で、力を試す」

作品作りを行います。ただし、注意すべきは、高い質の演技、質の高いエンターテインメントを提供する意識で。作品作りは、楽しいだけではなく、苦しい作業でもあることを知って頂きたいと思ひます。皆さんの表現は、聴き手へ何かしらの影響を与えます。どのようなものを与えたいかを、よく吟味しておくことが大切で。プロの表現を自分自身で見つけてください。演出家、共演者とよく話し合い、調和を意識しながら、自分のこだわりを作品へ投入することを試して頂きたいと思ひます。

●目的

完成度を求めて作品作りは行われます。これは、皆さんも意識して過ごされてきたことと思ひます。しかし、そこで生み出した表現に、どこか納得ができなかったのではないでしようか。3ヶ月目で行う短編制作では、ぜひ、自分の演技を的確にコントロールすることを学んでほしいと思ひます。1ヶ月目のシナリオ分析。2ヶ月目の人物への解釈。ここで再認識した作品への理解度を、この短編へ注ぎ込んでください。そして、自分が与えられたキャラクター(セリフ)で何をすべきなのかを徹底的に理解して、的確な演技を導き出してください。シナリオを支配し、セリフを支配して、己で納得できる表現を目指します。質の高い読み込みが生む、共演者との化学変化も楽しみたいですね。

【担当講師】

山中勇人(オーディオキネマ代表)

原作／脚本／演出／プロデュース担当

1979 年生まれ。大阪出身。

日本映画学校を卒業後、数年を映画制作の現場にて助監督として過ごす。

その後、様々な職を経て、時代劇専門のオーディオドラマを企画制作するオーディオキネマ(audio kinema)を立ち上げる。60 年代から 70 年代の映画を彷彿とさせる時代劇エンターテインメントを追究して作品開発を行っている。第一弾作品『研ぎ師伊之助深川噺』では、大御所・ベテラン声優陣のキャスティングを行い、本格的な時代劇ドラマを制作。

【最後に・・・】

ドラマ制作は、誰にでも参加が可能です。しかし、我々出演者が共演者を選ぶとき、そこには、演技力という巨大な壁が立ちはだかるのです。誰だって有名声優と共演したいものです。でも、そうさせてくれない理由は、確実に存在すると思います。このワークショップで学んで頂きたいのは、「なぜ自分は一流声優と演技共演がしたいのか？」ということなのです。「一流声優との共演で多くを学びたい」という理由が先頭にあっては、まるで彼らから何かを欲しがる子供のようにです。これでは駄目です。

◆一流は何を持っているのか？

◆一流が演技に込めてくるものは何か？

ここをよく考え、それらが自分にどんな影響を与えるのかを考えて欲しいと思います。ここが達成できれば、現場でも先輩方に対して五分の付き合いができるはずですよ。もう立派な共演者ですよ。プロの声優になるには、何が必要なのか、何が大事なのか……。ここを皆さんとよく話し合ってください。そして、各自の答えを発見して欲しいと思います。私のドラマ CD 制作も、この答えを発見したことで動き出しました。そして、それを出演者の方へ理解して頂けたから作品が成立したのです。これは、皆さんにもできることです。声優という仕事を本当に理解するつもりで考えていきましょう。

オーディオキネマ代表 山中勇人